

fu fu fu 幸せを感じたとき...

信楽通信 第240号 2022. 9. 1 発行

社会福祉法人しがらき会

信楽青年寮
ワークセンター紫香楽
しがらき地域生活支援センター
障がい者雇用・生活支援センター(甲賀)

《法人事務局》信楽青年寮内

TEL 0748-82-0588 FAX 0748-82-0961

URL <https://www.shigarakikai.or.jp> E-Mail shigaraki@miracle.ocn.ne.jp

～しがらきから吹いてくる風～

日本×台湾交流展 2022 in 信楽

Japan × Taiwan Outsider Art Exhibition in Japan

ごあいさつ

2011年より始まった台湾と日本との作品交流展、今年で12年目に入りました。この交流展、軌道に乗って年々充実した形で開催されてきましたが、この2.3年は世界的に大流行した新型コロナウイルスの感染で国際間の人の移動が禁止されました。それでも作品だけは行き来し、お互いの国で作品展を開催してきました。今回の信楽での交流展は台湾よりスタッフや作家さんたちは来ることができませんが、作品展を開くことによってコロナ後の発展に繋がる事を願っています。

また、この交流展を続けてきたことによって、今まで芸術活動に機会のなかった人たちも作品作りに取り組むようになり、新しい作品が加わってきました。台湾では家長総会の努力によって全国的に作品の掘り起しが行われ、各地で作品展が開催されました。素晴らしい事です。

両国の作家さんやその家族からは「作品展に出展したい」「日本に行きたい」「台湾に行きたい」「ほかの国とも交流したい」といった声が沢山出てきました。これらの声を大切に今後も活動の継続ができますよう努力していきたいです。

社会福祉法人しがらき会 理事長 林 晋



Insutagram

展覧会の情報を

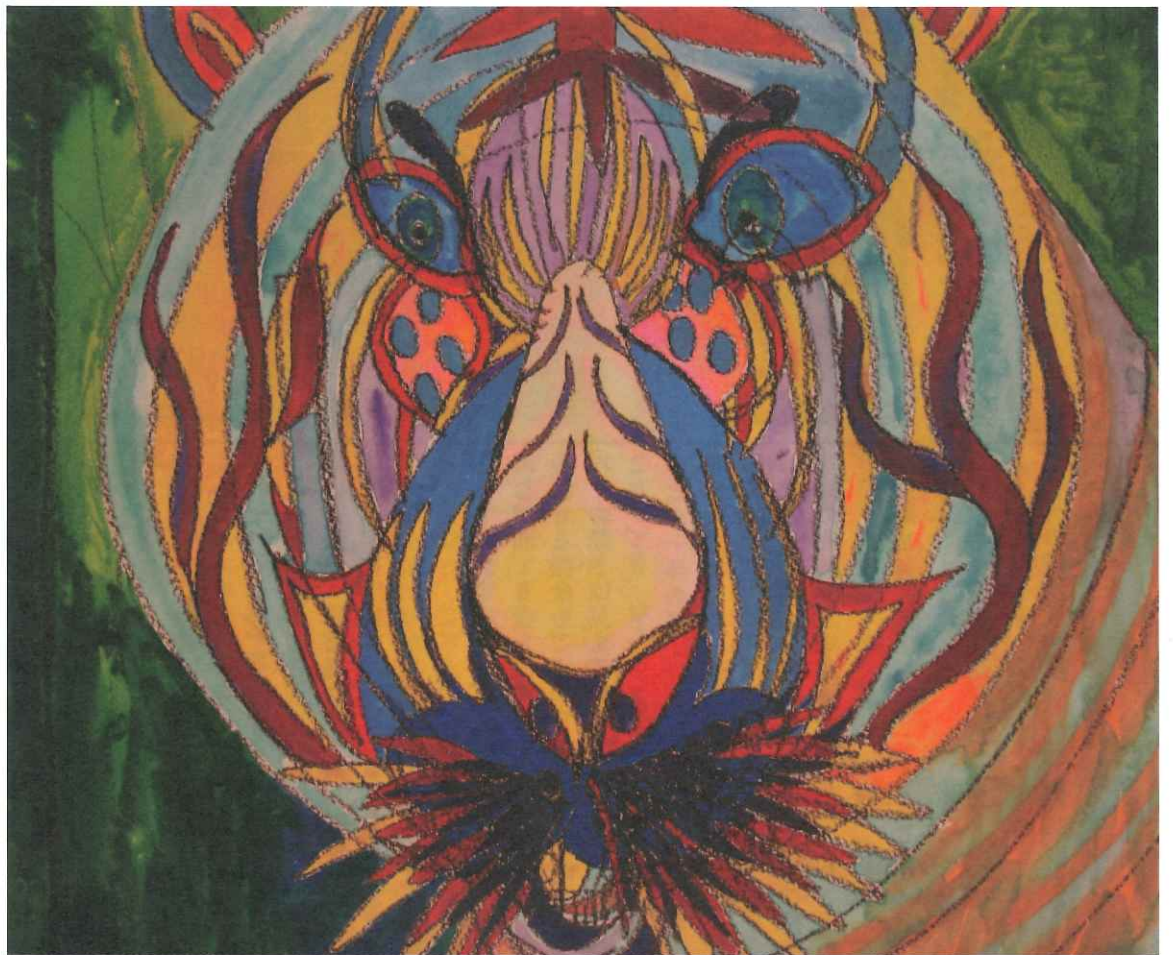
更新していきます

左のコードを読み

取って下さい



SHIGARAKI_SEINENRYO



2011-2022 [主催] 社会福祉法人しがらき会 中華民國智障者家長總會

日本・台湾各地
展覧会開催

(出展施設) 信楽青年寮 ワークセンター紫香楽

臺北市智障者家長協會 臺北市弘愛服務中心 高雄市楠梓特殊學校
財團法人臺南市私立天主教美善社會福利基金會 樂山教養院
高雄市教育局原生藝術育成中心 財團法人薛伯輝基金會

しがらきから吹いてくる風 日本台湾交流展 2022

JAPAN-TAIWAN OUTSIDER ART EXHIBITION

【後援】 滋賀県 甲賀市 公益財団法人滋賀県陶芸の森 信楽陶器卸商業協同組合
信楽陶器工業協同組合 信楽焼振興協議会 公益財団法人京都新聞社会福祉事業団
MIHO MUSEUM 滋賀県児童成人福祉施設協議会 公益財団法人滋賀県手をつなぐ
育成会 滋賀県知的ハンデを持つ人の協議会 信楽町職親会 読売新聞大津支局
毎日新聞大津支局 株式会社あいコムこうが 中華民国文化部

【協力】 青年寮保護者会 紫香楽和紙友の会

滋賀県立陶芸の森 信楽産業展示館
NON-03(土) 0.25(日)



信楽青年寮 しがらき会HP

スタッフ募集 (正規・パート)

しがらき会では職員を募集しています。

障がいのある人を支える仕事に興味がある方は、
下記までご連絡をお願いします。

お待ちしております。

詳しくは QR コードを読み取って下さい !!

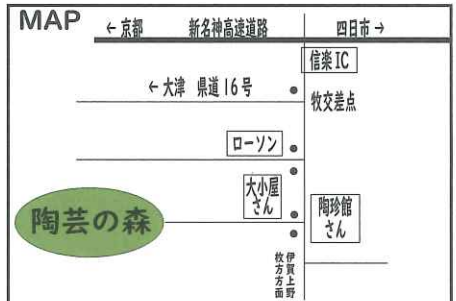
募集職種 : 支援員・ヘルパー・看護師
世話人・洗濯業務

連絡先 : しがらき会法人事務局
0748-82-0588

担当 : 中井・岩永



会場
滋賀県立陶芸の森信楽産業展示館
〒529-1804 滋賀県甲賀市信楽町勅旨 2188-7
休館日 毎週月曜日 観覧料無料 URL <http://www.sccp.jp>
お問い合わせ
社会福祉法人しがらき会 信楽青年寮
〒529-1812 滋賀県甲賀市信楽町神山 534-8
TEL:0748-82-0588 FAX:0748-82-0961
E-mail : shigaraki@miracle.ocn.ne.jp
URL : <https://shigarakikai.or.jp>



ワークセンター紫香樂より

こんにちは

今回は、ワークセンター紫香樂で作成・販売をしているカレンダーの紹介をしたいと思えます。

さて、昨今の物価高騰の影響もあり、心苦しいのですが今年度よりカレンダーを値上げさせて頂く事となりました。

毎年楽しみにしていただいているお客様には、大変申し訳ありませんが、ご理解賜りますようお願い致します。

写真①は、毎年たくさんの注文をいただいている『草木カレンダー』です。A3サイズのカレンダーで、壁などに掛けてご利用いただけます。

値段：2,200円(税込)

写真②は、『和ごよみ』です。

A2サイズの大きなカレンダーです。上部の空白部分には、写真を貼ったり文字を書いたり、自分の思うようにアレンジして楽しめます。

値段：1,320円(税込)

写真③は、『ポスカレ』です。

在籍する利用者さんが描かれた絵を使用したカレンダーです。使用後はキリトリ線に沿って切ってくださいと、ポストカードとしてご利用いただけます。

値段：1,650円(税込)

写真④は『THIS IS CALENDAR』です。

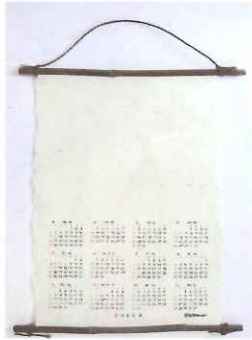
シンプルでスタイリッシュなカレンダーです。ひとつとして同じ和紙はない、唯一無二なカレンダーです。

値段：1,320円(税込)

ワークセンター紫香樂では、手漉きにこだわって和紙を作成しています。手漉き和紙ならではの『温かみ』や『紙の個性』を感じてもらえたら幸いです。ぜひこの機会にお手に取ってみてください。

お問合せ先 ワークセンター紫香樂

TEL:0748-82-2198 田ヶ原



しがらき地域生活支援センター

だより

日頃は当センター活動に格別のご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、当センターには共同生活援助事業、居宅介護事業、特定相談支援事業と主に三事業がございますが、そのうちのひとつである特定相談事業「うろむろ」が信楽町長野の支援センターから勅旨の地域生活支援拠点HALU内に場所を移して早や一年が過ぎました。今では電話や来所相談も多くあり、利用者や他事業所の皆さんにもこの場所を認識していただいています。昨年度の今頃は何とか通常業務をこなすのに必死な毎日であったかと思うと時間の流れの早さを感じています。

「うろむろ」では、この一年で「多職種連携」と呼ばれるチームでの支援に多くかわるようになってきました。「多職種」なので障害福祉サービスだけではなく、医療や介護、教育など役割も違う職種でご本人へのチーム支援を行います。「はじめまして」の場合も多く、時には互いの制度を知り合う事や、共通言語を探ることから始めないといけない場合もあります。制度や役割も違うチームですが、目指すゴールはもちろん「ご本人の意向」。そのゴールに向かってそれぞれがそれぞれの役割や専門性でご本人を支えていきます。

多職種連携での経験を通して障害福祉サービスには無い支援や、障害福祉サービスとは違うアプローチ方法など、他事業について知る機会が増えました。多職種でのかわりが増えるにつれ、チームでかわるこの大切さ、ご本人の選択肢が増えることの豊かさを感じています。チーム支援と言っても常に同じ場所や同じ時間で支援を提供するわけではなく、全員が顔を合わせる機会もごくわずかです。しかし、チームメンバーの動きは見えなくてもご本人を通して感じる事ができ、なんとも言えない力強さを感じます。

この一年の多職種連携の経験で実感しているのは、自分たちの力や知識の限界を知ることの大切さです。障害福祉サービスだけで完結しようとする困難だけれども、周囲の力を借りればご本人の意向に沿った支援の展開や地域生活の継続が出来たこともこの一年で多くありました。また、複数人がご本人と関わることで本当に望んでいらっしやる事が聞けたこともありました。

しがらき地域生活支援センターは今後も周りの皆さんを頼りながら、ご本人と一緒に「ご本人がしたい暮らし」の実現に向けて共に歩んでいきたいと思えます。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

岩田 記

障がい者雇用・生活支援センター

(甲賀) だより

当センターでは、『障がい者雇用・生活支援センター(甲賀)』と『甲賀地域働き・暮らし応援センター』2つの名称を使い分けしていましたが、昨年度より甲賀圏域では「甲賀地域働き・暮らし応援センター」を統一して使用することにさせて頂きました。平成十七年に滋賀県から障がい者働き・暮らし応援センター事業を受託して以降、昨今では滋賀県の就労支援の基幹センターとして『はた・くら』の呼称が定着し、広く障がいのある方や企業様、関係機関の皆様には『はた・くら』を知って頂けるようになったためです。障がいのある方が住み慣れた地域で皆と一緒に働き、暮らしを頂けるよう、『はた・くら』は、行政、医療、教育、福祉等、地域の関係機関と常に連携をしながら共生社会の実現を目指しています。甲賀地域(甲賀市・湖南市)では障がい児・者サービス調整会議を通して、行政、医療、教育、福祉等の各機関が障がい分野別、ライフステージ別に必要な情報交換を定期的に行い、それぞれの専門知識や制度を組み合わせて、おひとりおひとりに応じたオーダーメイドの支援が提供できるよう連携の強化に努めています。近年では発達障がい、高次脳機能障がい、難病、ひきこもり等の専門部会も立ち上がり、多様化する障がいにも対応できる地域支援ネットワークの構築が進められています。

このように甲賀地域の発展的な支援システムの根拠も、『はた・くら』の目指す共生社会の実現も、福祉の町、信楽から学び、続いてきたものであると思っております。私自身も福祉の町、信楽の誇りを胸に障がいのある方々の『地域の中で皆と一緒に働きたい・暮らしたい』という思いを応援し続けて参りたいと思っております。

甲賀地域働き・暮らし応援センター
甲賀市水口町曙3-44
TEL:0748(63)5830 (M・M)

職員コラム

現在、わが家には猫が一匹居て、この猫は保護と里親探しの活動をしている知人から譲り受けてきた出自であります。猫を飼うのは初めてでお互い戸惑いの連続でしたが、一年程経った今では、すっかり慣れて、かけがえのない家族の一員になっていきます。飼うまで猫は単独行動を好み、警戒心が強くマイペースなイメージを持っていましたが、実際その通りでした。でも、寂しがり屋で時にはとても甘えてきますし、かまってあげない時間が続くと、へそを曲げただけをします。このかわいい猫とできるだけ一緒に過ごしたいので、家に居る時間が長くなり、今のご時世には丁度良いです。

猫は自由です。座ってじっと景色を眺めていたり、かまって欲しい時には近づいてくる姿を見ていると、人生を楽しみ他人の目を気にせず自分らしく、ありのままに生きることがアリアリではないかと、日々思います。

(T・T)

ダブルクリック(私の視点)

今年の夏は早々に梅雨が明けたとおぼえ、戻り梅雨といわれたり、猛暑が続いたり気象変動に加え、新型コロナウイルス感染者が急増するなど、周囲の変化に適切に対応していくことの難しさを実感した季節でもありました。新型コロナウイルスの減少、在宅勤務やオンライン化により、人と会って話をする機会も減り、人間関係が希薄化してきていることも、新たな社会問題として取り上げられています。

つい悪いイメージや悪い方向へ考えがちですが、困難な状況であるからこそ新しい気づきや今までと違った視点で物事を見る、考えられることもあってはならないかと思っております。「当たり前」と思っていたものも、まったく違うものに映ることもあるのではないのでしょうか。障がいのある方との面談においては、生活面の悩み、家族、職場の悩みに加えて、コロナウイルス感染症への不安、孤立や孤独、人間関係の変化による不安を感じるなど、相談内容も多様化してきているように感じています。「話を聞いてほしい」「相談したい」と来所したり、連絡を下さる方の話に耳を傾けながら、「あたらしい視点」を意識しつつ、コロナ禍の今だからこそできる支援を丁寧に実践していきたいと思っております。

(I・M)